

# ウソで固めた呉比証言

責任のたがいのための逃げ道はない

## 大災害裁判第16回公判

九月十七日福岡地裁において、一九三三池大災害裁判の第十大回公判が開かれ、会社側証人のトッパツターとして、大災害当時、三井の最高責任者であった、呉比元証言台に立ち、会社側弁護団による証人の尋問が行なわれた。

呉比証人は、あの悲惨な大災害の責任を反省するどころか、会社側が準備したシナリオ(質問)を答へ、内容を細かく書き、会社側弁護団はシナリオ通り答へていくか、一つひとつチェックして、たとりの責任のたがいを、まやかしの証言を行ない、これに對し法廷につめかけた原告はもうろく、廊下にあふれて中間報告を聞いて使用不能になっていた。訴いた原告や支援団体の仲間「ウソばかり」「証言通りなら何で炭じん爆発は起るか」「ベルト

炭じん爆発は起るか」「ベルト

九月十七日、この日は会社側証人として災害の直接の責任者である呉比元三井証言台に立つた。炭じん爆発の防止に効果がある、私の知る限り見当らない。炭じん爆発は起るか、と一生懸命に聞き入る。

九月十七日、この日は会社側証人として災害の直接の責任者である呉比元三井証言台に立つた。炭じん爆発の防止に効果がある、私の知る限り見当らない。炭じん爆発は起るか、と一生懸命に聞き入る。

## 法廷で思わず抗議

家族の会長 石原政子

私達はたまたま、午後一時から法廷に入ってきた呉比証人に對して、亡き宮崎重信さんのお母さんと一緒に抗議を申し立てた。

会社がどうもかそうと、炭粉まきと掃除をいつもしていたら起きない災害だったのです。このように会社の無責任さが、今も患者に追いついてくるので、絶対に許すことはできません。一生懸命に抗議を申し立てました。

# 故永野利男さんの霊前に

故永野利男さんの三井労組三川指導部にあたり、お別れの言葉をのべておきたい。永野さん、あなたのあまりに突然の死に、私たちはおどろきと悲しみを胸がいっぱいです。土曜日まで元気に元気で、いつものように元気をいって私たちを笑わせていたあなたが、どうして急になくなったのでしょうか。どうしても信じることができません。

あなた、C.O患者となつてから、奥さんと子どもさんに言葉を残すひまもなく、あわただしく死んでいかれました。三井から感情を爆発させ、奥さん「父ちゃん、起きろね」、

## あなたの怒りもこめて……

# 力いっぱい闘います

原告団用辞

あなた、C.O患者となつてから、奥さんと子どもさんに言葉を残すひまもなく、あわただしく死んでいかれました。三井から感情を爆発させ、奥さん「父ちゃん、起きろね」、

あ、三井大災害後、消えたC.O患者の命は、二十一人です。

「C.O中毒症」というのは、ただ細胞を傷めるだけでなく、内臓にも悪影響を与えるものだ、との金子綱郎博士の証言が、耳の底にこびりついています。

## 許せぬ三井の冷酷さ

遺族会役員 永江美由紀

十六回公判は、被告側証人として、三井の最高責任者であった、呉比元証言台に立ち、会社側弁護団による証人の尋問が行なわれた。

呉比証人は、あの悲惨な大災害の責任を反省するどころか、会社側が準備したシナリオ(質問)を答へ、内容を細かく書き、会社側弁護団はシナリオ通り答へていくか、一つひとつチェックして、たとりの責任のたがいを、まやかしの証言を行ない、これに對し法廷につめかけた原告はもうろく、廊下にあふれて中間報告を聞いて使用不能になっていた。訴いた原告や支援団体の仲間「ウソばかり」「証言通りなら何で炭じん爆発は起るか」「ベルト